

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)	◎	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・一重に緊急事態宣言の解除が大きく影響している。東京都の新型コロナウイルス新規感染者数の減少による安心感が影響してか、家族連れが増え、週末は数か月ぶりに来店する客なども多く見受けられた（東京都）。
	◎	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・飲食業界ではこの10月から来客数が激増している。
	◎	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、酒を出せるようになったため、週末は今までの2～3倍以上の客が来店するようになってい。今まで動けていなかった身体が、急に忙しくなり少々疲れ気味である（東京都）。
	◎	旅行代理店（販売促進担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染者数も減ってきているので、個人の国内旅行が動き出して、良くなっている。また、教育旅行では、公立を中心に修学旅行が予定どおり又は春の予定であったものの再開が見込まれており、これも良くなっている要因である。ただ、国内の団体等については相変わらず様子見なので、年内又は年明けはまだ難しいような情勢である。ひとまず旅行業界とその周辺は、国内の個人客と修学旅行の動きが良い（東京都）。
	○	商店街（代表者）	それ以外	・さすがにどん底であった緊急事態宣言下よりは上向いている。遠方へのアミューズメントが少ない現在は、晴れた休日など新型コロナウイルス発生以前より街に人があふれている。ただし、クレジットカードの取扱高を見る限り、人の多さとは対照的に数字は伸びておらず、財布のひもは相変わらず固そうである。飲食の回復もまだまだ厳しいのが現状である（東京都）。
	○	一般小売店〔家電〕（経理担当）	来客数の動き	・家電製品、特に買換えの間合せが増えてきている。売上としては増えていないが、これから売れてくる。
	○	一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客がほとんど増えなかったが、最近になって幾らか客も戻ってきつつあるように感じている（東京都）。
	○	一般小売店〔文房具〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により、取引先である近隣飲食店の営業条件が緩和されたため、会計伝票などの業務用品のまとめ買いが出始めてきている。それにより客単価が上がり、2～3か月前との比較では、売上はやや上向き傾向である（東京都）。
	○	一般小売店〔生花〕（店員）	お客様の様子	・客から、新型コロナウイルスの出口が見えてきてうれしいねとか良かったねというような話が聞かれる。この2年間、お祝いの花が本当に出なかったが、やっと10月の終わり頃から出るようになってきている（東京都）。
	○	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、気温の低下等も影響し、また外出の機会が増えるなかで、9月まで苦戦していた婦人、紳士衣料品共に動きが出てきている。
○	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの影響もやや落ち着いてきている。3か月前と比較すると、商環境自体は良い方向へと変化しているが、客の消費行動は劇的に改善しているわけではないとも感じている。季節の変わり目が明確だったこともあるが、婦人ファッション関連の動きは、前年よりは良くなってきている。しかし、過去の実績と比べると、期待するところまではまだまだ届いていない（東京都）。	
○	百貨店（総務担当）	来客数の動き	・10月から緊急事態宣言が解除され、来客数が前月よりも増加傾向にあり、前年の90%程度まで回復してきている（東京都）。	
○	百貨店（広報担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の減少が顕著なこと、また、緊急事態宣言が解除されたこともあり、外出自粛傾向が緩やかながら収まっている（東京都）。	

○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数の減少に合わせて、来客数、売上共に増加している。し好品や高額品の購入増加などが要因である。食品は今月より相次ぐ値上げが発生しているが、大きな買い控えはみられない（東京都）。
○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・10月半ばから、化粧品の接客ルールが緩和されたことで、客単価や販売数が前年にやや追い付きつつある。ただし、新型コロナウイルス発生以前の2019年度の数字には、まだまだ届かない（東京都）。
○	百貨店（販売促進担当）	それ以外	・9月末での緊急事態宣言解除により、10月は来客数も回復傾向となり、3か月前の緊急事態宣言再発出直前と比較すると、景気は良くなっている。
○	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・当店は繁華街にあるが、緊急事態宣言が解除され、歩行者天国が解放されたことにより、客の流れが多くなったと感じている。また、飲食店で酒を提供できるようになったこと、営業時間も長くなった影響で、来客数も多くなっている（東京都）。
○	百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、徐々に街中の人出は回復してきているものの、消費回復にはまだ至っていない。19時以降の来店客が少なく、以前のような閉店間際の駆け込みも少ない。テレワーク等の推進によりオフィスへの出勤者が少ない影響も考えられる（東京都）。
○	百貨店（店長）	来客数の動き	・9月より徐々に、10月中旬からは明らかに人流が増加している。キャリーを引く客も増加しており、ターミナル立地の商業施設としては、県をまたいでの移動がいよいよ増加してきていると実感できる（東京都）。
○	百貨店（財務担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除、行動制限の緩和等により、販売量が回復基調にある（東京都）。
○	スーパー（総務担当）	競争相手の様子	・緊急事態宣言が解除され、街に人が出てきている。
○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・たばこ増税前の駆け込み需要があり、前年並みの売上となっている。緊急事態宣言が解除されたことで客足も戻りつつある（東京都）。
○	コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除以降、観光地を中心に来客数が確実に増えてきている（東京都）。
○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・寒くなり、肌着や靴下等の実用衣料品の売上が大変良い。新型コロナウイルスが収束しつつあるので、月末の売出しも良くなっている。外出着については相変わらず新型コロナウイルス発生以前には戻らない。旅行等はまだまだこれからのようである。
○	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、10月に入り業績が向上している。特に、ドレス事業は、結婚式の開催によりゲストドレス需要が回復し、前々年とほぼ同水準になりつつある（東京都）。
○	衣料品専門店（役員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、人出が多くなってきているものの、購入単価は相変わらず低い。
○	家電量販店（店員）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたため、年末商戦に向けて売上が向上する。
○	家電量販店（経営企画担当）	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が9月30日をもって全面解除された状況下、10月に入り、前年度を超える水準には届いてはいない。しかし、感染第5波のときと比べると安心感がまるで違う。これから、経済は徐々に緩和の方向で進むものと考えている（東京都）。
○	乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・緊急事態宣言が解除され、展示会、イベントが以前よりは開催しやすくなってきているため、半導体の供給不足はあるものの、新車の需要が多少伸びてきている。ただし、整備については、新型コロナウイルスの影響で走行距離が少ないために、整備当たりの単価、部品代が減って、粗利率が下がっている。全体的には新車については良く、整備関係は利益率では落ちてきている（東京都）。
○	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・半導体不足の影響で車両登録が進んでいなかったが、徐々に解消してくると予想している。

○	その他専門店 〔貴金属〕（統括）	来客数の動き	・来客数が徐々に増加していることに伴い、売上も増加傾向にある（東京都）。
○	高級レストラン （営業担当）	来客数の動き	・自粛の解除、酒類提供の緩和が大きく影響しており、25日以降の直近のレストラン利用や11月以降の利用問合せが増えている。10月度の売上は前年比98.2%、前々年比30.9%となっている（東京都）。
○	高級レストラン （仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスも落ち着いてきているからか、来客数が徐々に増えてきている（東京都）。
○	高級レストラン （役員）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除により、来客数が増え、酒類提供の制限解除によって客が酒を注文できるようになり、単価も上がっている（東京都）。
○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルスで大変な状況で、時短営業をしていたため、売上がほとんどなかった。今は時短営業も解除されて少しずつ客が増えてきてはいるものの、まだまだ以前のようにはいかない。3か月前よりは少し良くなってきたという程度である。
○	一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・3か月前の7月1～29日までの前年比は、売上81.0%、来客数84.0%である。今月10月1～28日までの前年比は、売上76.2%、来客数74.3%である（東京都）。
○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・ランチ、夜営業共に来客数が増えている。リモートワークも一部残っているようだが、客が複数名で来店する機会が増えてきている（東京都）。
○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・飲食店経営なので、緊急事態宣言解除は大きな影響がある。ただし、この2年間の自粛生活により、以前に戻るとは言えない。今後も動向を見ていきたい（東京都）。
○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、完全に新型コロナウイルス発生以前までとは言わないが、少しずつ外食する人が増え、当店の来客数も増えている（東京都）。
○	その他飲食〔カフェ〕（経営者）	来客数の動き	・10月に入り、飲食が急に増え、友達同士、子供連れの客が多くなっている。懸念材料としては、おしゃべりしたい客が多く、マスクを外したまましゃべっている客も多数いることである。スタッフへの新型コロナウイルス感染が心配なので、感染対策が必要だと強く感じている（東京都）。
○	その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	それ以外	・売上は5%未満ながら若干伸びている。利益が大幅に改善したのは、新型コロナウイルス禍後の新体制整備を行い、人件費を大幅に減らすべく、人員削減を図ったことが大きな要因である（東京都）。
○	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数が急激に減少したことにより、ムードが良くなっているような気がする。10月24日をもって営業時間等に関する規制も解除されたので、現状としてはやや良くなっている。
○	都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、レストランを中心に個人利用が戻りつつある。週末は席数調整を行ってはいれるものの、ビュッフェやフランス料理のレストランでは満席になる日がみられている。単価も比較的高単価で推移しており、徐々にではあるものの、景気の回復を実感している。
○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・学校団体の修学旅行、遠足は一斉に動き出しているものの、一般団体の動きは皆無である。
○	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除され、世の中が平常に戻りつつあるので、徐々にではあるが、来客数が戻ってきている。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、夜の需要がやや戻りつつあり、人の動きも増えたように感じる。店の時短営業も25日で解禁となり、今までよりは需要が増える。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・営業時間等の規制が24日をもって解除されて、新型コロナウイルス発生以前ほどではないものの、これまでに比べて少し人の流れが出てきたような気がする（東京都）。

○	通信会社（経営者）	お客様の様子	・10月の客からの問合せ件数は、前年同月と比較して戸建て、集合住宅共に半減、3か月前と比較しても4割減と大きく減少している。客からの動きは鈍くなっているものの、新型コロナウイルス禍による訪問拒否や営業キャンセルの増加はなく、営業全般的には落ち着いており、雰囲気は良くなってきている（東京都）。
○	通信会社（社員）	お客様の様子	・前月に引き続き回復傾向がみられる。番組の引き合いやイベントの計画が具体化している（東京都）。
○	通信会社（社員）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除により量販店に人が戻ってきている（東京都）。
○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、人の流れが戻るにつれて、新規契約数が少しずつ増加している傾向がみられる。
○	通信会社（局長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたことで客との接点が増え、加入件数も徐々に上向き傾向になってきている（東京都）。
○	ゴルフ場（経理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍においても比較的安心して取り組めるスポーツとしてゴルフが注目され、会員権相場も堅調であり、繁忙期という季節的要因もあって、稼働率は底堅く推移している。レストランにおけるアルコール提供制限は解除されたものの、感染警戒の動きも多くみられ、平時の水準への回帰には時間を要するものと思われる。企業名を冠したゴルフコンペなどの自粛の動きは継続しており、全体的な収益性は低下している。
○	その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	お客様の様子	・予約の問合せなどが徐々に入ってきている（東京都）。
○	その他レジャー施設 [複合文化施設]（財務担当）	来客数の動き	・来客数が増加している（東京都）。
○	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが収束に向かっていくことから、こちらから客に対するアポイントが取れるようになり、少し前方が明るくなったような気がしている。新しく社員を迎えられる話も見えているので、これから活気が出てくるのではないかと。
○	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・大きなプロジェクトが一つ終わったが、他の案件が幾つか入ってきている。
○	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・3か月前と比べて大きな変化はない。相変わらず地価が高騰したままで、在庫がない状況である。年明けには需要も減り、地価が下がってくるのではないかと。
○	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・展示場の来場者数にはさほど増減がみられないものの、受注量は確実に増加してきている。
○	その他住宅 [住宅資材]（営業）	販売量の動き	・東京オリンピック前後で停滞していた建材需要が盛り返してきている（東京都）。
□	商店街（代表者）	来客数の動き	・最近の客の様子を見ていると、来客数はやや増えてきているものの、買物をする準備がまだ余りできていないようである。何となくまだ買物に対して慎重な部分が残っており、決定はしてもらえぬのだが、決定するまでに他店との比較をするなどで時間が掛かっている。
□	一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・補助金を受け取った飲食店で、多少店の改装をするなどの話だけは聞こえてきているが、今後どのように仕事につながるかはよく分からない（東京都）。
□	一般小売店 [印章]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスがそろそろ収束しつつあるが、またいつ第6波という形で身近に発生するか分からない。また、収束後は恐らく商売の方法が大きく変わる感じがする。その辺に注目して、よく勉強して商売していかないといけないと強く感じている。
□	一般小売店 [祭用品]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向で、飲食店も徐々に通常営業に戻りつつあるが、人出はまだ戻っていない。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	販売量の動き	・来客数が今一つ伸びていない。売上は、平日は伸び悩んでいるものの、土日は幾分伸びているようである。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔傘〕（店長）	来客数の動き	・商店街の人通りが少なく、にぎわいが無い。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・まだまだ緊急事態宣言の影響で仕事にならない。営業時間等の規制も今月で解除されるようなので、もう少し様子を見てみないと何ともいえない。これから年末に向けて人が動き、店が忙しくなることを期待するばかりである（東京都）。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・年度末に掛けての受注量が例年並みに続いている（東京都）。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・10月1日に緊急事態宣言は解除されたものの、東京都はリバウンド防止措置期間として引き続き営業時短要請、入場者整理を求められ、今のところ来客数の改善は特にみられない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが落ち着いているからといって、急激に来客数が伸びるわけではない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画宣伝担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後のリバウンド消費を期待していたが、思ったほど大きくなく、2019年の水準には戻っていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客の様子を見てみると、広告初日の目玉商品やタイムサービス、あるいはポイント何倍といった特典のある日や時間帯をうまく利用して、少しでも安く買物をしようという傾向が多く見受けられる（東京都）。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	お客様の様子	・来客数が減っている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が少しずつ収まるなかで、地域催事も再開されるようになり、数量をまとめて購入する特注等が上がってきている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	単価の動き	・買上点数は前年並みを維持しているものの、単価の上昇がみられてこない。消費者の志向がより安価な物へとシフトしている（東京都）。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・衣料品、住まいの品は前年を下回っており、10月前半は特に悪かった。月後半は気温が下がったことで若干回復傾向にはあるものの、まだまだ前年には届かず、前々年を大きく割る状況が続いている。食品は来客数を含めて前年を上回っているものの、今後の値上げを含めて客の買い方が非常にシビアになってきている様子が見受けられる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスが収束に向かっているが、今月に入り、アルバイトの応募が飲食店に流れてしまい、全く来なくなってしまった。そのため、夜間の時給を大幅アップせざるを得ず、全く利益が出ない状況に陥っている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	単価の動き	・天候に左右されているのではなく、買上額が少ない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が激減し、ショッピングセンターなどにも人が出ているようだが、来客数的にはまだまだ変わらないというのが現状である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年度と比べると、売上は前年を割っている。緊急事態宣言が解除され、飲食店が通常営業に戻ったことにより売上が減少しているとみている。また、たばこの値上げによる買い控えもある。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（従業員）	販売量の動き	・問屋の話からの判断である。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	お客様の様子	・必需品に関しては底堅いが、趣味嗜好商材に関しては力強さを感じられない（東京都）。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。前月の5割減となっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の半導体不足と、新型コロナウイルスの影響で海外からの部品供給が遅延している影響で、納期の遅れがまだ解消していない。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (店長代行)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、海外からの部品の入庫不足により納期が長期化しており、販売量を増やすのは難しい(東京都)。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・国内の新型コロナウイルス感染状況は落ち着いてきているが、自動車業界は海外の部品不足の影響で、相変わらず新車の納期が遅いため、客が車検期日に間に合わないからと購入を見送るなどしている(東京都)。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	来客数の動き	・来店頻度が落ちているので、来客数、売上共に減少している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・販売量の動きは前月とほとんど変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が改善し、客の行動も活発化してきている(東京都)。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [生鮮魚介卸売] (営業)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスも落ち着いてきているが、気持ちとしては喜べる段階ではない(東京都)。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	販売量の動き	・10月は気候の影響が大きく出ている。前半は気温が高くアパレルが不振であったが、気温が低下してからは好調となっている。飲食店は新型コロナウイルス禍により苦戦が続いている。直近は、感染者数激減の影響で、以前より僅かながら上向いている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後、一時は予約の間合せがあったが、人流の大きな増加は感じない(東京都)。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・3か月前は、新型コロナウイルスの感染状況等の影響で客が外食を控えていた。今も、緊急事態宣言が解除されたものの、まだそれほど浸透していないので、2~3か月前と変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言及び時短営業が解除されたが、一般の生活はすぐには元に戻らないと感じている。テイクアウトの注文が減りイートインが増えてはいるものの、夜間の来客数と滞在時間が余り変わっていないからである。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・特に変わった様子はない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・客に電話をして、旅行の話を勧めているが、新型コロナウイルスが収束したわけではないので、今のところはまだ二の足を踏んでいるようである。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染収束の兆しは感じられるが、まだ個人旅行は拡大が始まったばかりである(東京都)。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (営業担当)	お客様の様子	・旅行需要はまだまだである(東京都)。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	それ以外	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が9月30日に解除され、10月から酒の提供も可能になったが、解除前とほとんど変わらない。利用客はすぐには増えず、まだまだ最寄り駅から帰宅する乗客ばかりである(東京都)。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されること自体は良いが、まだ客、特にサラリーマン客が戻っていない。これからどうなるか注目している(東京都)。
<input type="checkbox"/>	タクシー (団体役員)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されただけでは余り人流が増えなかったが、営業時間等の規制も解除されたため、今後人流が増えることを期待している。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたものの、転居等の人の動きはまだ表立っては出ておらず、インターネットの契約数も横ばいである。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・新規加入、コース変更共に、必要最低限の内容を選択する意識は相変わらず強い。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (経理担当)	単価の動き	・顧客数は増えているものの、単価が下落傾向のため、売上は現状維持が精一杯である。

□	通信会社（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染再拡大の影響が強く、感染者数が減少した現在も営業機会の減少から回復できず、新規契約獲得件数が伸び悩んでいる（東京都）。
□	パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・9月30日をもって緊急事態宣言は解除されたものの、今月24日までの飲食店に対する規制の一部緩和にとどまり、9月と比べ客足は伸びていない。年金支給後の15日以降は若干上向いたものの、勢いはまだ弱い。
□	競輪場（職員）	販売量の動き	・新しい商品を提案してみたものの、投資に見合ったほどの効果はまだ出ていない。
□	その他サービス [福祉輸送] （経営者）	来客数の動き	・9月下旬に緊急事態宣言が解除されたが、まだ人出はそんなに多くなってきてはいない。来月以降に盛り上がることを期待している（東京都）。
□	その他サービス [保険代理店] （経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍での悲痛感を感じられない。慣れもあるが、景気の下向き感がなくなっている。一方で、景気上昇の期待感もない。
□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス収束の兆しが見え始めたが、仕事量には変化の兆しが見えない。
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・相変わらず相談業務のみで話が前に進まない（東京都）。
□	設計事務所（職員）	それ以外	・良くも悪くも状況に変化がない（東京都）。
□	住宅販売会社 （経営者）	来客数の動き	・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。当社が都内と関東近郊の保養地などに所有しているホテルの運営状況が非常に悪く、規定の賃料が受け取れていない。今後、Go To Travelキャンペーンが再開されることを期待している。また、住宅の売行きも良くなく、工事請負業も少なくなっている。
□	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・毎年10月は少し落ち込むが、今年も同じような落ち込みである。
▲	一般小売店「家電」（経理担当）	それ以外	・ふだんなら10月はいろいろなイベントがあるのだが、全て中止となり、祭り関係の電気工事もできなかった。商材は、いろいろな物が平均的に少しずつ動いている。
▲	一般小売店「酒類」（経営者）	お客様の様子	・客との会話からやや悪くなっていると感じる。
▲	一般小売店「文具」（販売企画担当）	販売量の動き	・店頭部は、緊急事態宣言が解除されたこともあり、営業時間が延びたので、何とか良い方向にいつている。ただし、支店は、下階や横に入居していた銀行が統廃合で撤退したため、来客数が3割以上減っており、大打撃である。外商の方は、今月ははざ間の時期で物件がなかなかないこともあり、全体ではマイナスになっている。
▲	一般小売店「茶」（営業担当）	単価の動き	・来客数は前年並みだったが、ギフト需要が少なく、売上が減少している。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っている。客単価は良いものの、来客数が減っているため、その分悪くなっている。これは天候や新型コロナウイルスが徐々に収束してきていることなど、いろいろな要因がある。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数、客単価共に前年を割っているが、買上点数が軒並み前年を大幅に割っていることが一番の要因である。買上点数の減少による売上の減少という厳しい状況である（東京都）。
▲	スーパー（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されることにより、内食化傾向がなくなってきた、販売量が特に落ちている。ただし、買上単価と来客数は若干前年を上回っているため、売上は何とか前年をキープしている（東京都）。
▲	スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、人が動き出しており、内食傾向が少し薄れている。加えて、上旬は気温が高かったものの、中旬から一気に気温が下がり、売れる物が大きく変わっている。
▲	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後の客の来店動向より、食品購入の客が減少し、より価格に敏感になっていると感じる。将来への不安から節約志向が感じられる。

	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っている（東京都）。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により近隣のイベントが中止になり、前年比95%と厳しい状況は変わらない。
	▲	家電量販店（店長）	販売量の動き	・家電製品の一部で半導体不足や生産国のロックダウンなどにより、売れ筋商材の入荷状況が悪くなっており、結果として販売量がやや減っている。また、高単価商材の動きが鈍くなっている（東京都）。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・例年同様、9月の反動での減少が起きている。そこに半導体不足の問題も重なり、納車できないのが現状である。
	▲	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・半導体不足の影響で納期遅延の状況が続いているなか、客の購買意欲も低下しており、急いで購入しなくてもいいだろうと考える客が増えている。
	▲	住関連専門店（統括）	来客数の動き	・自粛解除されたが、まだまだ人の出入りが少なく、それに伴い販売量も減っている。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前は長期団体利用があったため、今月より稼働率が高かった。10月は全体的に稼働率が落ちている。
	▲	通信会社（経営者）	販売量の動き	・半導体不足の影響により機器の納品が遅れている。いつ正常に戻るか、先行きが見えない（東京都）。
	▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・当社はテレビ、インターネットサービスを提供しているため、在宅時間が長いほど需要があるが、緊急事態宣言が解除され、在宅時間が減ったせいか、問合せが減っている（東京都）。
	▲	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響から資金調達ができない。
	▲	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約89%となり、3か月前と比べても約27%落ちている。5～9月までの5か月間の販売量は目標を達成していたが、今月は厳しい状況である。注文住宅の場合、住宅ローン控除の税制優遇を受けるための契約期限を過ぎてしまったことも販売量の減少につながっている。
	▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスが1日も早く収束し、元の仕事ができるような日常に戻ってほしい。
	×	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスや半導体不足の影響で、新車の仕入れが大幅に遅れている。
	×	乗用車販売店（渉外担当）	販売量の動き	・自動車の減産の影響が大きい。
	×	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	販売量の動き	・原油価格の高騰により、ガソリンを始めとして仕入値、販売価格も高騰しており、消費者に買い控えがみられる（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・10月25日から営業時間等の規制が解除になるが、ラストオーダーが夜8時、酒類提供は夜9時までとなると、東京から帰ってきた人などは当店には飲食に来られない。そのため、夜はほとんど来店客がない。
	×	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・都内の公園で月に2回弁当を配布する事業について報道されたが、じきになくなってしまうとのことである。生活困窮者が多いということだろう。新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いてきたとはいうものの、まだまだ景気の回復には至らない。
企業動向関連	◎	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は酒屋なので、緊急事態宣言の状況次第で数字がどんどん動く。今後は更に良くなっていく（東京都）。
(南関東)	◎	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・10月から当社特有の繁忙期に入っている（東京都）。
	◎	建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・見積り依頼が増えている。
	◎	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数も減り、通常の生活に戻りつつあり、明るい兆しが見える。

○	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・10月に入って来客数、注文数が増え、売上が伸びている。しかし、会社関係、法事などはまだ動きがない。
○	出版・印刷・同 関連産業(所 長)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言解除によりイベント等の制限が緩和され、集客イベント等が少しずつ動いてきている。案件の引き合いが非常に増えている。
○	出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	受注量や販売量の動き	・印鑑、ゴム印、名刺印刷などを行っている。路面店なので店頭での来店客と、外売りの会社関係の仕事がある。今月は、会社設立の印鑑の注文が5本あった。ふだんは1本、2本、低迷した時期は全然なかったので、会社設立の動きが出てきたのを感じている。当店で先を見越して仕入れるということはないので、問屋への支払は注文件数の分だけであるが、通常15~16万円のところ、10月は20万円の支払があり、一般のゴム印関係の注文も、例月と比べ、多くなっている(東京都)。
○	プラスチック製 品製造業(経営 者)	受注量や販売量の動き	・受注、問合せが増えているが、半導体を始めとして建材等いろいろな物の動きが悪いので、良くなっているように感じるのかもしれない。
○	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年同期比で売上が1割ほど増えている。新型コロナウイルス禍がまだ払拭されたわけでもないのに、必要な物は荷動きが出てきている。しかし、部品の入手が困難になっている(東京都)。
○	通信業(広報担 当)	受注量や販売量の動き	・7月を底に若干回復しているものの、その後は横ばいの状況が続いている(東京都)。
○	金融業(従業員)	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、飲食業が元気を取り戻すとともに、全業種に対し心理的作用が予想され、建設業況の回復も見込まれる。
○	金融業(総務担 当)	取引先の様子	・緊急事態宣言解除をきっかけに、飲食業やレジャー業で売上が伸びている。住宅関連も、テレワークが浸透しているので住宅を買う人が増えている。IT関係は、新型コロナウイルスの影響による半導体不足が響いており、パソコンやシステム関係の売上が落ちている。運送業は燃料価格の高騰と人手不足もあり、業況は厳しい。全体的には景気は上向いている(東京都)。
○	金融業(役員)	取引先の様子	・緊急事態宣言の解除により、今後の期待感を含め、マインドとしては良化傾向にある。
○	不動産業(総務 担当)	取引先の様子	・緊急事態宣言の解除を受け、飲食店舗は営業時間の延長、酒類の提供を再開したが、売上は2割弱の増加にとどまっているとのことである。オフィスビル内の店舗なので、いまだにオフィスワーカーが5割程度しか出社していないことが響いているようである(東京都)。
○	広告代理店(従 業員)	受注量や販売量の動き	・解散総選挙の特殊要因かと思う(東京都)。
○	税理士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が、理由は不明なもの激減し、緊急事態宣言が解除され、飲食店やイベントなどが以前の環境に戻りつつある。必ず来るといわれている感染第6波の到来がいつになるのか不安ではあるものの、今のところ兆しはなく、良い方向に向かっている。
○	その他サービス 業[廃棄物処 理](経営者)	受注量や販売量の動き	・まだ新型コロナウイルス発生以前とまではいかないが、問合せの数も多くなってきており、受注量も1割ほど上向いている。
○	その他サービス 業[警備](経 営者)	受注量や販売量の動き	・新規受注が見込まれている案件がある。
○	その他サービス 業[ソフト開 発](経営者)	取引先の様子	・新型コロナウイルスが収束しているようで、客とも会えることが増えてきたので、営業チャンスが増加する(東京都)。
□	出版・印刷・同 関連産業(経営 者)	それ以外	・3か月前と変わらず、新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止が重なり、売上が減少している。今後、政府の対策がどうなるか次第で変わることを期待したい。

□	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で化粧品容器、医療品容器共に受注が下げ止まったまま、回復の兆しが見えない。東南アジア工場の操業回復など明るい見通しもあるが、勢いや確実性に欠ける。
□	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響はまだ続いているものの、取引先を訪問し、コミュニケーションを取れるようになったので、今こそ営業努力を発揮して、仕事の確保を続けていきたい。
□	精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注は多くなっているが、機械部品や半導体等の不足、更に原油高、鋼材や樹脂の値上がりにより、計画倒れとなっている。
□	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・当地域の不動産は動いているが、思った以上に値段は上がっていない。
□	建設業（経営者）	取引先の様子	・仕事量が増えている企業もあれば、材料が入らなくて仕事が減っている企業もある。
□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部に前年売上を上回る商材が出てきているものの、今月は土曜日全てが休配日で稼働日が減少したため、全体の状況に変化はない（東京都）。
□	輸送業（経営者）	それ以外	・9月決算では前年比で売上が10%減少している。粗利は変わらず、売上が減少した時期もあったものの持ち直した3期前と比較すると、30%の減少である（東京都）。
□	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・物流量が伸び悩むなか、原油価格の上昇もあり、厳しい状況である。
□	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・繁忙期に入ったが、物量が増えない。また、燃料価格の高騰により、収益が伸びてこない。
□	不動産業（経営者）	取引先の様子	・賃貸物件の商談件数は相変わらず少ない。人の移動が抑制されていた状態ではやむを得ない。
□	不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍は終息しつつあるものの、宿泊需要はまだ増えてはいない（東京都）。
□	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除され、人の動向が活発になっている（東京都）。
□	広告代理店（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス禍での会社の状況もようやく落ち着いてきて、来年度の事業等の動きが出始めてきている。
□	広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・相談件数は増えているものの、案件の規模や金額が低いいため、売上が余り伸びない（東京都）。
□	税理士	それ以外	・夜いつも歩きながら商店街の飲食店等を窓越しにのぞいて客が入っているかを見ているが、新型コロナウイルスの影響もあり、まだ全然客が入っていない。大分前からそのような状態である（東京都）。
□	社会保険労務士	取引先の様子	・返済不要の助成金や補助金を使いたい会社が多く見受けられる（東京都）。
□	経営コンサルタント	取引先の様子	・小売、飲食では緊急事態宣言解除後に客足が伸びているが、新型コロナウイルス発生以前の状況までには至っていない。
□	経営コンサルタント	取引先の様子	・金属加工の中小企業では、半導体装置関連の部品が増産で、大きく売上に貢献している。一方、食品関連の機器を製造している企業向けの部品等は、まだまだ下がったままである（東京都）。
□	その他サービス業【映像制作】（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数が減り、緊急事態宣言も解除されたが、イベントなどはまだ完全に戻っていない。例年行われていた全国イベントも無観客、リモートとなり、請け負っていた仕事がなくなっている（東京都）。
□	その他サービス業【情報サービス】（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月から今年度の下期に入り、新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言も解除されたが、受注状況が上向かない。
▲	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・本来需要期を迎えるのだが、前年と比べても勢いが無い。新型コロナウイルス禍で各社の販売促進活動が変化して、悪影響となっている。
▲	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここまでは取引先から事前に悪化すると伝えられているが、この先はある程度回復すると聞いている。
▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・主要取引先の自動車メーカーが部品調達不足で減産している。当社も稼働日を減らすなどで対応している。

	▲	その他製造業 [靴] (経営者)	取引先の様子	・私どもの職業、職種は以前からそうだが、必需品ではないので、景気が悪くなると巻き返すことが非常に難しい。そういった意味では、レベルの高い生活者は別だろうが、景気回復にはどうしても時間が掛かる。	
	▲	建設業 (経営者)	取引先の様子	・建材や鋼材の値上がりが止まらない。	
	▲	不動産業 (経営者)	競争相手の様子	・緊急事態宣言が解除され、時短営業も解除になり、明るい兆しが見え始めているものの、飲食業は一番苦労しているようで、長年当地で営業している店舗が廃業に追い込まれている。我々賃貸業も回復するには時間が掛かりそうである。テレワークのため、近隣の苦情が増えてきている。特に、飲食業の更新がスムーズにいかない (東京都)。	
	▲	その他サービス業 [ビルメンテナンス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・見積依頼の件数が減ってきている (東京都)。	
	×	建設業 (営業担当)	それ以外	・資材価格の高騰が継続しており、施主の予算とかけ離れている状況が悪化している。	
雇用 関連 (南関東)	◎	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人に対して働き手不足で充足できていない。給与水準も上昇傾向にある (東京都)。	
	◎	学校 [大学] (就職担当)	それ以外	・飲食店が営業を再開し、街に活気が戻ってきている (東京都)。	
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除され、年末に向けて求人数が徐々に増加してきている。	
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は3か月前比で180%強、前年同月比で130%強となっており、堅調に推移している。再就職支援に関する適時開示の社数や規模も前年に比べて落ち着いており、雇用調整は一巡感が出始めている (東京都)。	
	○	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・求人数が軒並み復活してきて、新型コロナウイルス発生以前の水準に戻りつつある (東京都)。	
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・デリバリーサービスのピッキング業務のオーダーが増えている。	
	○	人材派遣会社 (経理担当)	それ以外	・求人数はここ数か月特に大きな変動はなく、新型コロナウイルス発生以前の7割程度で推移しているが、派遣契約の終了数も依然として少ないため、全体的な派遣労働者数は微増している (東京都)。	
	○	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・9月末で緊急事態宣言が解除され、求人数が前年比110%程度まで上がってきている。宣言明け1か月での効果測定は難しいが、良くなっていくのではないかと。	
	○	求人情報誌制作 会社 (営業)	求人数の動き	・夏が終わると同時に、新型コロナウイルス感染者数が減少してきており、それに伴い求人数も増えてきている。しかし、まだ以前のように仕事量が戻ってきていない企業が多くある。3か月前と比べればやや良くなってきているが、これからどんどん良くなっていく印象はない。	
	○	求人情報誌制作 会社 (広報担当)	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が減ってきているからか、世の中のいろいろな活動がまた活発になってきている。それに伴い、同業他社や自社での中途採用が多くなってきているように感じる。このままいけば、景気は更に回復していくのではないかと (東京都)。	
	○	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・4月以降、新規求人数は新型コロナウイルス発生以前の7割程度で推移していたが、9月は9割程度に回復しており、企業の採用意欲に復調の兆しがみられる。	
	○	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人が増加傾向にある。また、正社員求人の割合も増加しており、アフターコロナを見越した採用活動が本格化しつつある (東京都)。	
		□	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・会社の業績や、周囲を含めた消費動向に変化がみられない (東京都)。
		□	人材派遣会社 (支店長)	それ以外	・主力の人材派遣やアウトソーシングの受注数は堅調である。人材紹介は、新型コロナウイルス発生以前の8割程度まで回復してきているものの、受注数は低調傾向である (東京都)。

□	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・エンジニア派遣のニーズは前年比では良くなっているが、直近3か月間で見るとおおむね横ばいであり、景気は良いとも悪いともいえない。
□	民間職業紹介機関 (経営者)	採用者数の動き	・学生の動きはインターネットが中心で、リアルな対面接触が少ないためか、じっくり企業研究をする時間がないようである。ゲーム感覚で進めていると、ミスマッチや内定辞退が多く発生するのではないかと、来年の就職活動の結果が心配である(東京都)。
□	民間職業紹介機関 (経営者)	求職者数の動き	・全般的に経済の活性が感じられない。乗用車などの販売にも季節感が感じられず、製造部門でもひっ迫感がない。半導体などの供給不足などが報じられているが、需要の強さもない。新型コロナウイルスの影響は徐々に薄れており、経済の停滞感がある(東京都)。
▲	—	—	—
×	求人情報誌製作会社 (所長)	求人数の動き	・中小企業の求人の動きも仕事も、ほぼ変わっていない。
×	新聞社「求人広告」 (担当者)	求人数の動き	・数字を見直すと最悪の状態となっている。